



2024 年度

4月 園だより

社会福祉法人雲柱社
五日市保育園

桜の花も咲きはじめ、やわらかな春の日差しの中で新年度が始まりました。ご入園、ご進級おめでとうございます。子どもたちはこれから保育園で毎日楽しく過ごします。保護者の皆さんも、どうぞ安心してお仕事や自分の時間を持ってください。そして、子どもたちと一緒にいる時間には「あなたが大切」とたくさん伝えてあげてください。

子育ては楽しいことばかりではありません。時には悩んだり不安になったりもします。そして、決して一人ではできません。保護者の皆さんが笑顔で子育てができるように、子育てって大変だけど楽しいと感じていただけるように、私たちがパートナーとして一緒に悩んだり考えたりしながら子育てをお手伝いできたらと思っています。神さまが導いてくださったたくさんの出会いに感謝いたします。これから一年間どうぞよろしく願いいたします。

小さな社会へ

お家から保育園という小さな社会に入ってきた子どもたちは、これからたくさんの経験をしていきます。お友だちと仲よく遊んだり、いろいろなことが出来るようになったり、嬉しいこと、楽しいこともたくさん経験します。しかし、時にはお友だちとケンカをしたり、頑張ったのに失敗して悔しい経験をすることもあります。子どもたちはこうして、お家では出来ない経験を通して、コミュニケーション力や社会性を身につけていきます。子どもが育つには「子どもの社会」が必要です。お家に帰ったときに「今日は保育園でこんなことが嫌だった。」「お友だちとケンカして悲しかった。」というお話を聞くこともあるかもしれません。大切なお子さんからこんな言葉を聞いたら心配になりますよね。そんな時には「そうか、嫌だったんだね」「悲しい気持ちになっちゃったんだね」とまずは子どもの思いをそのまま受け止めてあげてください。大好きなお家の人に自分の気持ちをわかってもらえると、子どもたちはそこからまた立ち上がり、再び困難や壁に立ち向かうことができます。失敗しても、また頑張ってチャレンジしてみようと思えるようになります。上手い出来ない経験が次を考えるきっかけとなり、次へのステップとなります。子どもの時期に、時間をかけて上手い出来ない体験ができる環境を作ることは大切なことです。

五日市保育園は「たてわり保育」を通して、子どもたちが安心してたくさんの経験や、たくさんの失敗が出来る環境を整えています。転ばないように、失敗しないようにと大人が先回りばかりをして育てるのではなく「転んだらまた立ち上がれる、失敗しても次にまた頑張れる」力を大切に育てていきたいと思っています。そして一人ひとりがお互いの違いを認め合い、自分のことも周りの人のことも大切に出来る、平和を作り出す子どもに育ってほしいと願っています。

(園長 関根富美子)

子どもの祈り

かみさま
いつも見てくださってありがとうございます。
わたしたちは春が来て ひとつ大きな組さんになりました。
新しい組になって すこし からだが大きくなりました。
わたしたちの心も広がっています。
小さい組には 小さな子どもたちがきて 保育園は子どもたちでいっぱいです。
保育園の子どもたち ひとりひとりを どうぞ おまもりください。
やさしい心って どんな心にかしら と考えることができますように。
おもしろいこと 楽しいこと 不思議なことが見つかりますように。
かみさまが わたしたちの体も心も 強めてください。
このお祈りをイエスさまのお名前によって おさげいたします。アーメン

